単独研究用

兵庫医科大学　研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	ステント支援下コイル塞栓術後の遅発性ステント内血栓症についての検討 [倫理審査受付番号：第 3460 号]
研究責任者氏名	吉村 紳一
研究期間	2020 年 3 月 24 日　～　2023 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。 疾患名：　ステント支援下コイル塞栓術を施行した脳動脈瘤 診療科名：　脳神経外科 受診日：西暦　2013 年 9 月 1 日　～　2020 年 9 月 30 日
研究に用いる試料・情報の種類	□ 試料等　■カルテ情報　□アンケート　□その他（　　　　　　）
研究目的・意義	ステント支援下コイル塞栓術は、脳動脈瘤治療において治療効果を上げる手段の一つとして有用な方法です。しかし、術後の遅発性血栓性合併症を予防するための最適な抗血小板療法は未だ確立されていません。本研究では、ステント支援下コイル塞栓術を施行した患者さんを後方視的に調査し、遅発性ステント内血栓症例における抗血小板療法などの臨床経過や画像所見の特徴について検討を行い、患者さんに応じた最適な抗血小板療法プロトコールの確立を目指します。
研究の方法	兵庫医科大学で、2013 年 9 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日までに、脳動脈瘤に対して脳血管内治療を行った患者さんの内、ステント支援下コイル塞栓術を施行した患者さんを対象とし、その臨床所見（年齢、性別、くも膜下出血の有無、既往歴、抗血小板療法、術前の血小板凝集能検査)、画像所見（動脈瘤の部位、サイズ、形、母血管径)、治療方法（使用したステントの種類）及び予後（3 ヶ月および 15 ヶ月後の mRS、遅発性ステント内血栓症の有無、その他の合併症、再発および再治療の有無）についてデータを収集し、遅発性ステント内血栓症と関連する因子について検討します。

単独研究用

個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	研究責任者　脳神経外科　主任教授　吉村　紳一 研究分担者　脳神経外科　講師　内田　和孝 実務責任者　脳神経外科　助教　榊原　史啓 兵庫医科大学病院　脳神経外科 Tel：0798-45-6458（平日 9:00-17:00）0798-45-6755（時間外）